

方針等 区分		(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策1) 地域における人材確保への支援		平成26年度	
事業名	企業と大学等との就職に関する情報交換の促進		予算額	172千円	
			決算額	150千円	
事業概要	県内外の大学等(短大・専門学校を含む)と市内の事業所が、採用情報等について情報交換を行う場を設け地域の産業の人材確保に向けた支援を促進します。		取組状況	H26.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> <li>■日程 平成27年1月27日(火)</li> <li>■会場 グランシップ</li> <li>■対象 企業の人事担当者と県内外の大学・短大・専門学校の就職指導者</li> <li>■その他の予定</li> <li>10月 公共職業安定所(静岡・清水)と商工会議所の担当者打合せ</li> <li>11月 企業、大学へ交流会参加依頼の通知</li> <li>12月 参加企業、大学の確定、プロフィール作成依頼</li> <li>1月 参加企業、大学へ資料送付</li> <li>1月 交流会実施</li> <li>2月 アンケート実施及び来年度に向けた検討</li> <li>■予算額</li> <li>茶菓代 41,000円</li> <li>看板代・会場設営・撤去費 73,000円</li> <li>会場借上料等 58,000円</li> </ul>
	補足事項	大学3年生の就職活動のスタートが12月となったことにより、静岡県では11月、本市では1月に本交流会を開催すること、ニーズの異なる企業、大学等の参加が見込まれる。	進捗率	H26.9.1 現在	(%)
1	成果目標	参加者 大学等 180校/3年 企業等 240社/3年		H27.3.31 現在	(参加大学等) H24/ 42校 H25/ 60校 H26/ 60校 計 / 162校 (参加大学等) 90.0 (%) (参加企業等) H24/ 53社 H25/ 56社 H26/ 71社 計 / 180社 (参加企業等) 75.0 (%)
総合計画の位置付け (分野別) IV産業・経済	政策方針	5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援	事業結果	事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■目的</li> <li>学生と企業の「就職・雇用のミスマッチ」を解消するため大学等の就職指導者と企業の人事担当者との情報交換・意見交換を実施することにより、平成28年3月卒業の学生の就職促進を図る。</li> <li>■日時</li> <li>平成27年1月27日(火)午後2時から午後4時半まで</li> <li>■会場</li> <li>グランシップ</li> <li>■参加者</li> <li>①県内外の大学・短大・専門学校の就職指導者 60校73人</li> <li>②静岡市内に所在する企業の人事担当者 71社101人</li> <li>■内容</li> <li>大学等の就職指導者と企業の人事担当者のそれぞれのブースを設け、互いに訪問することによる情報交換と意見交換を実施した。</li> </ul>
	大施策	(2) 意欲ある人材の地域における就業支援			
	中施策	①企業と人材のマッチング			
産業振興 プランの 位置付け	基本方針	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>企業の参加申込が想定を上回り、参加を断った企業も発生したため、来年度は、グランシップ1階大ホールを利用し、より多くの参加者を受け入れる体制を整えている。</p>	
	基本方針	(4) 次代を担う人づくり			
	基本施策	②職業人としての意識・能力の涵養			
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他 (特記事項)	公共職業安定所(ハローワーク静岡・清水)及び静岡商工会議所と共催する事業である。	

事業 2 (1)	方針等 区分	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策1) 地域における人材確保への支援		平成26年度(市内開催版)			
	事業名	(仮) 経営者と大学生の縁結び事業の推進		予算額	1,235千円		
				決算額	410千円		
	事業概要	優秀な人材を確保するために、経営者等が大学3年生等に直接、地域の産業の魅力を伝える就職支援策を推進します。		取組状況 H26.9.1 現在	<p>1 対象</p> <p>①静岡市内の特色ある産業・業界の中小企業経営者等</p> <p>②地元企業への就職に興味のある大学生及びその親等</p> <p>2 内容</p> <p>地元企業の経営者等と就職活動を控えた大学生との意見交換を通じて、業界の理解と地域企業の人材確保を図る為、経営者と大学生との交流会を市内で実施する。</p> <p>3 実施期間 8月～1月</p> <p>4 執行額 委託料410,240円</p> <p>5 取組状況</p> <p>■企業と学生の縁結び事業</p> <p>・大学生の夏休み時期に4回実施。</p> <p>□第1回(8月8日)</p> <p>テーマ:豊かな自然を活かした、多様で多彩な“食・健康”産業 参加者:企業3社、学生24人</p> <p>□第2回(8月22日)</p> <p>テーマ:キラリと光る“ものづくり”企業 参加者:企業3社、学生30人</p> <p>□第3回(8月27日)</p> <p>テーマ:しずおかで活躍する“女性”経営者たち 参加者:企業3社、学生27人</p> <p>□第4回(9月3日)</p> <p>テーマ:新たな価値を創り出す“デザイン・クリエイター”産業 参加者:企業3社、学生28人</p> <p>■教えて!先輩</p> <p>□第1回(1月9日)</p> <p>テーマ:新たな価値を創る“クリエイター・マスコミ”産業 参加者:企業2社、学生24人</p> <p>□第2回(1月13日)</p> <p>テーマ:安心・快適な住まいを造る“建築・リフォーム”産業 参加者:企業2社、学生13人</p>		
		補足事項	市内の中小企業経営者や人事担当者や大学生等が情報交換するセミナーを年3回開催する。 ・参加企業 3社×3 ・参加学生(定員)40人×3		進捗率 H26.9.1 現在	※2(3)首都圏版の欄にまとめて記載	
	成果目標	参加者 360人/3年		事業 評価	<p>■企業と学生の縁結び事業</p> <p>・大学生の夏休み時期に4回実施。</p> <p>□第1回(8月8日)</p> <p>テーマ:豊かな自然を活かした、多様で多彩な“食・健康”産業 参加者:企業3社、学生24人</p> <p>□第2回(8月22日)</p> <p>テーマ:キラリと光る“ものづくり”企業 参加者:企業3社、学生30人</p> <p>□第3回(8月27日)</p> <p>テーマ:しずおかで活躍する“女性”経営者たち 参加者:企業3社、学生27人</p> <p>□第4回(9月3日)</p> <p>テーマ:新たな価値を創り出す“デザイン・クリエイター”産業 参加者:企業3社、学生28人</p> <p>■教えて!先輩</p> <p>□第1回(1月9日)</p> <p>テーマ:新たな価値を創る“クリエイター・マスコミ”産業 参加者:企業2社、学生24人</p> <p>□第2回(1月13日)</p> <p>テーマ:安心・快適な住まいを造る“建築・リフォーム”産業 参加者:企業2社、学生13人</p>		
	総合計画の 位置付け (分野別) IV産業・経済	政策方針	5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援		事業結果		
		大施策	(2) 意欲ある人材の地域における就業支援				
		中施策	①企業と人材のマッチング				
	産業振興 プランの 位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成		次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	翌年度から「市内版」「県西部版」「首都圏版」を1つに統合し、事業全体の効率化を図っていく。今後は、平成27年度事業のアンケート結果等を踏まえ、地域企業への就職に確実に結びつく内容へと充実させることをめざしていく。	
基本方針		(4) 次代を担う人づくり					
基本施策		②職業人としての意識・能力の涵養					
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他 (特記事項)				

事業 2 (2)	方針等 区分	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策1) 地域における人材確保への支援		平成26年度(県西部開催版)			
	事業名	(仮) 経営者と大学生の縁結び事業の推進		予算額	0千円		
				決算額	167(市内開催版の不用額を流用) 千円		
	事業概要	優秀な人材を確保するために、経営者等が大学3年生等に直接、地域の産業の魅力を伝える就職支援策を推進します。		取組状況 H26.9.1 現在	1 対象 ①静岡市内の特色ある産業・業界の中小企業経営者等 ②地元企業への就職に興味のある大学生及びその親等 2 内容 地元企業の経営者等と就職活動を控えた大学生との意見交換を通じて、業界の理解と地域企業の人材確保を図る為、経営者と大学生との交流会を県西部で実施する。 3 実施期間 11月 4 執行額 委託料167,400円 5 取組状況 ■企業と学生の縁結び事業 □第1回(11月5日) 参加者: 企業3社、学生20人		
		補足事項	市内の中小企業経営者や人事担当者と大学生等が情報交換するセミナーを年3回開催する。 ・参加企業 3社×3 ・参加学生(定員) 40人×3				進捗率 H26.9.1 現在 H27.3.31 現在
	成果目標	参加者 360人/3年		事業 評価	■企業と学生の縁結び事業 □第1回(11月5日) 参加者: 企業3社、学生20人		
	総合計画の 位置付け (分野別) IV産業・経済	政策方針	5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援				
		大施策	(2) 意欲ある人材の地域における就業支援				
		中施策	①企業と人材のマッチング				
	産業振興 プランの 位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成				
基本方針		(4) 次代を担う人づくり					
基本施策		②職業人としての意識・能力の涵養					
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他 (特記事項)	H26年度新規事業。			

事業 2 (3)	方針等 区分	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策1) 地域における人材確保への支援		平成26年度(首都圏開催版)			
	事業名	(仮) 経営者と大学生の縁結び事業の推進		予算額	2,019千円		
				決算額	1,561千円		
	事業概要	優秀な人材を確保するために、経営者等が大学3年生等に直接、地域の産業の魅力を伝える就職支援策を推進します。		取組状況 H26.9.1 現在	1 対象 ①静岡市内の特色ある産業・業界の中小企業経営者等 ②地元企業への就職に興味のある大学生及びその親等 2 内容 地元企業の経営者等と就職活動を控えた大学生との意見交換を通じて、業界の理解と地域企業の人材確保を図る為、経営者と大学生との交流会を市内で実施する。 3 実施期間 7月～2月 4 執行額 委託料410,240円 5 取組状況 ・学生の夏休み前に1回、冬休み前に1回、就活解禁前に1回実施。 ■企業と学生の縁結び事業 □第1回(7月11日) 参加者: 企業3社、学生15人 □第2回(12月17日) 参加者: 企業3社、学生17人 □第3回(2月4日) 参加者: 企業3社、学生12人		
		補足事項	市内の中小企業経営者や人事担当者と大学生等が情報交換するセミナーを年3回開催する。 ・参加企業 3社×3 ・参加学生(定員) 40人×3		進捗率 H26.9.1 現在 H27.3.31 現在	(参加者数) H24 / 140人 H25 / 154人 H26 / 210人 計 / 504人 140.0 (%)	
	成果目標	参加者 360人/3年		事業 評価	事業結果		
	総合計画の 位置付け (分野別) IV産業・経済	政策方針	5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援		■企業と学生の縁結び事業 □第1回(7月11日) 参加者: 企業3社、学生15人 □第2回(12月17日) 参加者: 企業3社、学生17人 □第3回(2月4日) 参加者: 企業3社、学生12人		
		大施策	(2) 意欲ある人材の地域における就業支援				
		中施策	①企業と人材のマッチング				
	産業振興 プランの 位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等		
基本方針		(4) 次代を担う人づくり		翌年度から「市内版」「県西部版」「首都圏版」を1つに統合し、事業全体の効率化を図っていく。今後は、平成27年度事業のアンケート結果等を踏まえ、地域企業への就職に確実に結びつく内容へと充実させることを目指していく。			
基本施策		②職業人としての意識・能力の涵養					
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他 (特記事項)	H26年度新規事業。			

事業 3	ものづくり基本計画	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策1) 地域における人材確保への支援		平成26年度				
	事業名	定年延長を見越した中高年技術研修の検討		予算額	0千円			
				決算見込額	0千円			
	事業概要	セカンドライフの充実に向けて、中高年技術者等のニーズに基づいた技術や技能の向上に関する研修会開催を検討します。(若年層の育成や中小企業の技術力向上等を含む)		取組状況	H26.9.1 現在 ■市内各関連団体との連携を強化し、各種表彰制度への推薦や活動内容の周知など効果的な支援について検討する。また、市内において中高年が活動している事例を調査し、定年後のセカンドライフの充実に向けた施策について検討する。			
				進捗率	H26.9.1 現在	(参加者数)	0 (%)	
		補足事項		H27.3.31 現在	(参加者数)	0 (%)		
	成果目標	参加者 30人/3年		事業結果	<p>■静岡市内の企業OBによる諸活動</p> <p>□日立清水理科クラブ 子どもたちの理科への関心を高めようと、小学生を対象にものづくり教室や理科授業支援を行っている。会員は日立グループOBであり、ものづくりに長年携わってきた熟練者の集団である。本活動は未来を拓く児童・生徒の育成に寄与している。</p> <p>□NPO法人マンパワーカフェ 当団体は、静岡商工会議所からの受託で「製造現場改善支援事業」を行っており、技術力向上支援では、技術に課題を持つ企業に対して熟練の支援者が現場に出向き技術支援等を行っている。</p> <p>■コミュニティ活動賞への推薦 静岡県コミュニティづくり推進協議会が主催する「平成26年度コミュニティ活動賞」に上記2団体を推薦した結果、両団体が以下のとおり受賞した。</p> <p>□日立清水理科クラブ 優良賞 □NPO法人マンパワーカフェ 奨励賞</p>			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針						事業評価等
		大施策						
		中施策						
産業振興のプラン位置付け	基本方向		<p>(事務担当) 記載項目</p> <p>所属部会からの意見及び指摘事項</p>					
	基本方針							
	基本施策							
所属部会	<p>■技術者養成部会 部会員 ものづくり審議委員3人</p> <p>■事務担当 工業振興係</p>		<p>(事業担当) 記載事項</p> <p>改善点</p> <p>・ 目標の未達成理由等</p>	<p>■今後も引き続き、市内各関連団体との連携を強化し、効果的な支援について検討するとともに、市内における中高年の活動事例を調査し、セカンドライフの充実に向けた施策について検討していく。</p>				
担当課等	<p>経済局商工部 産業振興課 工業振興係</p>							

事業 4	ものづくり基本計画	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策1) 地域における人材確保への支援		平成26年度			
	事業名	理工系大学の誘致及び市内の既存大学における工学部新設の検討		予算額	千円		
				決算見込額	千円		
	事業概要	<p>市内外から優秀な人材を確保し、これらの人材の市内ものづくり産業への就業を促進させる観点から、市内に理工系大学を誘致することなどを検討する。</p> <p>理工系大学等は、新製品や加工技術の研究開発のほか、優れた人材を育成し、市内の中小製造事業所への人材供給機関として、その役割に大きな期待が寄せられる。併せて大学の教授陣と地元就業した卒業生との間における「人的ネットワーク」の形成からは、信頼関係のもとで、製品開発などに新たな事業展開の示唆を含めた支援・相談・共助機関としての役割にも期待が持てる。</p> <p>現在のところ、このような理工系大学等は静岡市になく、今後のものづくり産業（製造業）の振興を図る上では、極めて重要な視点であり、誘致等を検討する必要性から事業化された経緯がある。</p>		取組状況	H26.9.1 現在	<p>■静岡商工会議所との連携</p> <p>理工系大学の誘致等については、市単独で推進するよりも、学科等の専門領域の選定に係る地元産業界のニーズ把握が重要である。そのため、静岡商工会議所が市に対して要望する「理工系大学の誘致等」に関して情報及び意見等を交換する機会を事務レベルで設定することとした。</p>	
				進捗率	H26.9.1 現在	(%)	
					H27.3.31 現在	(%)	
	成果目標	3年間検討し、関係機関等との協議を含めた報告書を作成		事業結果	<p>■静岡商工会議所との協議概要</p> <p>市が理工系大学の誘致等に向けた取組をする一方、地元の産業界を代表する静岡商工会議所から、理工系大学の誘致等が要望として市に示された。このため、事務レベルにおいて、理工系大学の誘致等に向けた基本的考え方の相互確認のほか、中長期にわたる具体的な取組みなどを協議した。この中では、電気や機械に関する学科の設置を基本としながらも、将来の成長を見越した学科の編成なども、継続課題として取り扱われた。</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価等	<p>(事務担当記載項目)</p> <p>所属部会からの意見及び指摘事項</p> <p>■特になし</p>	
		大施策					
		中施策					
産業振興のプラン位置付け	基本方向		<p>(事業担当記載事項)</p> <p>改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■年度当初の製造業部会への概説</p> <p>理工系大学の誘致等については、翌年度当初の製造業部会において、概要を説明するとともに、静岡商工会議所と市がそのビジョン形成に向けて、先駆的取組の視察等に関して、取組を勧められる部分から順次実施していくことが重要である。</p> <p>来年度においても、相互に連携し、本市のものづくり人材の育成及び供給に加え、製造事業者の抱える課題等の解決などを念頭に置き、肅々と取り組んでいきたい。</p>			
	基本方針						
	基本施策						
所属部会	<p>■調査研究部会 部会員 ものづくり審議会委員3人</p> <p>■事務担当 産業振興課総務係</p>		<p>(事業担当記載事項)</p> <p>改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■年度当初の製造業部会への概説</p> <p>理工系大学の誘致等については、翌年度当初の製造業部会において、概要を説明するとともに、静岡商工会議所と市がそのビジョン形成に向けて、先駆的取組の視察等に関して、取組を勧められる部分から順次実施していくことが重要である。</p> <p>来年度においても、相互に連携し、本市のものづくり人材の育成及び供給に加え、製造事業者の抱える課題等の解決などを念頭に置き、肅々と取り組んでいきたい。</p>			
事業担当課等	<p>経済局商工部 産業振興課 総務係</p>						

ものづくり基本計画		(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2) 技術者、経営者等の能力向上への支援		平成26年度	
事業名	人材育成に係る各種講座、セミナー等の開催	予算額	産学交流センター指定管理料87,702千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理71,631千円の一部		
		決算額	産学交流センター指定管理料87,702千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理71,631千円の一部		
事業概要	各産業支援施設において、中小企業の経営者・従業員の人材育成のため、大学や産業界で活躍する専門家の協力を得て、各種講座やセミナーを開催します。	取組状況	H26.9.1 現在	(産学交流センター) ・大学等起業家育成事業：開催校3校 開催数 4回 受講者数 59人(今年度9校予定) ・マーケティング支援講座 開催数 5回 受講者数 432人  (清水産業・情報プラザ) ・情報化講演会 開催数 1回(延べ3日) 受講者数 51人	
			補足事項	H26.9.1 現在	(開催回数) H26 / 10回 (受講者数) H26 / 542人
進捗率等	H27.3.31 現在	進捗率等	(開催回数) H24 / 37回 H25 / 33回 H26 / 41回 計 / 111回 (受講者数) H24 / 1,658人 H25 / 1,332人 H26 / 1,645人 計 / 4,635人	(開催回数) 185.0 (受講者数) 103.0 (%)	
			事業結果	(産学交流センター) ・大学等起業家育成事業：開催校9校 開催数 22回 受講者数(延べ) 483人 ・マーケティング支援講座 開催数 12回 受講者数 881人 ・マーケティング支援講座以外の講座 開催数 3回 受講者数 74人  (清水産業・情報プラザ) ・女性のための創業セミナー 開催数 1回(全2回) 受講者数 42人 ・情報化講演会 開催数 3回(延べ7日) 受講者数 165人	
成果目標	開催回数 60回/3年 受講者数 4,500人/3年	事業評価			
総合計画の位置付け(分野別)	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化 【再掲】 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援  (2) 地域産業の活力強化 【再掲】 (5) 地域を担う多様な人材の活用と育成  ③経営基盤とマーケティング力の強化 【再掲】 ①起業家精神の醸成と起業家の育成 ②経営者・経営幹部の意識改革による経営能力の向上				
産業振興プランの位置付け	基本方向	事業評価			
	基本方針		次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等		
	基本施策		開催回数・受講者数とも目標値を達成することができた。 今後も引き続き、中小企業経営者や従業員の人材育成のため、専門家の協力を得て、各種講座やセミナーを開催し、人材育成に努める。		
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係	その他(特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2) 技術者、経営者等の能力向上への支援		平成26年度			
	事業名	若手後継者の技術習得支援 (伝統工芸技術保存講習会の開催)		予算額	1,890千円		
				決算額	1,715千円		
	事業概要	伝統工芸界の後継者育成と伝統工芸技術の保存伝承並びに技術訓練を図り、今後の商品開発に活用する目的で、漆器、蒔絵、拭漆、木工などの講習会を行います。		取組状況	H26.9.1現在	<p>■伝統工芸業界の後継者育成と伝統工芸技術の保存伝承並びに技術訓練を図り、今後の商品開発に活用する目的で、漆器、蒔絵、拭漆、竹千筋細工、木工指物などの講習会を地元の若手後継者を対象に開催。</p> <p>①漆器の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(漆器の部) 期間 平成26年5月13日(火)～9月30日(火)までのうち20日間 受講生 蒔絵、漆器関連業界関係者7人</p> <p>②拭漆の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(拭漆の部) 期間 平成26年9月22日(月)～11月17日(月)までのうち7日間 受講生 木工関連業界関係者5人程度(予定)</p> <p>③竹千筋細工の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(駿河竹千筋細工) 期間 平成26年9月30日(火)～12月9日(火)までのうち11日間 受講生 竹業界後継者9人程度(予定)</p> <p>④木工指物の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(木工指物の部) 期間 平成26年4月24日(木)～12月4日(木)までのうち15日間 受講生 木工家具関連業界関係者8人程度(予定)</p> <p>⑤蒔絵の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(蒔絵の部) 期間 平成26年10月7日(火)～平成27年3月10日(火)までのうち20日間 受講生 蒔絵、漆器関連業界関係者9人程度(予定)</p>	
					補足事項	進捗率	H25.9.1現在 (受講者数) (%)
			H25.3.31現在 (受講者数) 38人 126.7 (%)				
	成果目標	受講生 30人以上/年 (漆器、蒔絵、木工、竹工芸、拭漆の5部門に関する講座)		事業結果	<p>■伝統工芸業界の後継者育成と伝統工芸技術の保存伝承並びに技術訓練を図り、今後の商品開発に活用する目的で、漆器、蒔絵、拭漆、竹千筋細工、木工指物などの講習会を地元の若手後継者を対象に開催。</p> <p>①漆器の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(漆器の部) 期間 平成26年5月13日(火)～9月30日(火)までのうち20日間 受講生 蒔絵、漆器関連業界関係者7人</p> <p>②拭漆の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(拭漆の部) 期間 平成26年9月22日(月)～11月17日(月)でのうち7日間 受講生 木工関連業界関係者5人</p> <p>③竹千筋細工の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(駿河竹千筋細工) 期間 平成26年9月30日(火)～12月9日(火)までのうち11日間 受講生 竹業界後継者9人</p> <p>④木工指物の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(木工指物の部) 期間 平成26年4月24日(木)～12月4日(木)までのうち15日間 受講生 木工家具関連業界関係者8人</p> <p>⑤蒔絵の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(蒔絵の部) 期間 平成26年10月7日(火)～平成27年3月10日(火)までのうち20日間 受講生 蒔絵、漆器関連業界関係者9人</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援		事業評価		
		大施策	(3) 地域産業を支える知的経営資源の活用強化				
		中施策	①研究開発力の強化				
産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興	備等	〔事務担当〕 記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項			
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進					
	基本施策	④地域・伝統産業の近代化推進					
所属部会	<p>■伝統工芸創造部会 部会員 ものづく審議会 5人</p> <p>■事務担当 地場産業係</p>		〔事業担当〕 記載事項 改善点・ 目標の未達成理由等	<p>■若手職人ネットワークの構築 漆器の部では木工業の従事者である若手職人が、勉強のため参加するなど、業種の枠を超えた参加者同士が同じ講習に参加し木工従事者と既参加の漆器業界の若手の交流が図られている。</p> <p>■作品展示会の開催 蒔絵の部では前年度の作品展を引き続き開催していきたい。</p> <p>■東京芸術大学との連携模索 東京芸術大学に連携メニューの可能性を打診するため、大学を訪問し地元職人の学習の場の可能性を模索していく。</p>			
事業担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係						

事業	ものづくり基本計画	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2) 技術者、経営者等の能力向上への支援		平成26年度				
	事業名	伝統工芸技術秀士の指定及び顕彰の推進・PR活動の促進		予算額	741千円			
				決算額	714千円			
	事業概要	<p>伝統工芸技術保存と後継者の育成を図るため、本市の伝統産業に長年従事する技術者の中から特に優秀な技術を有し、その伝承と産業の発展に対し功績が顕著である者の指定及び顕彰を推進します。併せてPR活動を促進します。</p>		取組状況	H26.9.1 現在	<p>■伝統工芸技術秀士の指定者の検討 平成26年度中に1名を顕彰予定。</p> <p>■PR活動の実施 伝統工芸技術秀士の作品展示やDVD上映等によるPR活動を実施(駿府匠宿、東京都台東区、各区役所)又は予定中(東京都内、各区役所、駿府匠宿、駿府楽市等)</p>		
						補足事項	進捗率	H26.9.1 現在
	H27.3.31 現在	<p>(顕彰者)</p> <p>H24 / 1人 H25 / 0人 H26 / 1人 計 / 2人</p> <p>(展示会等)</p> <p>H24 / 7回 H25 / 7回 H26 / 7回 計 / 21回</p>	<p>(顕彰者数) 66.7</p> <p>(展示会等) 140.0</p>	(%)				
	成果目標	平成28年度までに2名指定 (現在50人) 展示会等 15回/3年		<p>■伝統工芸技術秀士の顕彰 伝統工芸技術秀士1名を顕彰した</p> <p>■伝統工芸技術秀士のPR ・首都圏でのPR(台東区2k540での作品展示及びパネル紹介等 7月開催) ・市内でのPR(各区役所フロアでの作品展示 計2回、駿府楽市での常設展示、駿府匠宿での紹介映像通年上映及び特別展示会)</p>				
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針						事業結果
		大施策						
	中施策							
産業振興のプラン位置付け	基本方向		事業評価等	〔事務担当〕 記載項目	所属部会からの意見及び指摘事項			
	基本方針							
	基本施策							
所属部会	<p>■伝統工芸創造部会 部会員 ものづくり審議会委員5人</p> <p>■事務担当 地場産業係</p>		〔事業担当〕 記載事項	<p>駿府匠宿や駿府楽市での常設展示や実演・修士紹介DVD放映のほか、各区役所等での企画展示、イベント等での実演をはじめ、首都圏PR事業の中での企画展示及び秀士紹介DVD放映などを継続して実施中。今後も更に、秀士の認知度向上や宣伝に努めるよう、展示会をはじめ、様々なPR方法について検討し、充実化を図ります。</p> <p>秀士の顕彰については、対象者の不足という現状もあることから、今後も中長期的視点に立って顕彰者の選定にあたって参ります。</p>				
事業担当課等	<p>経済局商工部 産業振興課 地場産業係</p>						改善点 ・ 目標の未達成理由等	

事業	ものづくり基本計画	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2) 技術者、経営者等の能力向上への支援		平成26年度				
	事業名	クラフトマンサポート事業の拡充		予算額	4,200千円			
				決算額	2,175千円			
	事業概要	伝統産業を担う人材の確保、後継者育成のため、新規就業促進のための短期現場実習、後継者育成を図る長期現場実習、ものづくりで生計を志す方への独立支援補助事業を拡充します。		取組状況	H26.9.1 現在	(1) 地域産業現場実習短期支援者数 1名 (600千円) (2) 地域産業現場実習長期支援者数 1名 (2,400千円) 報告期間(前期4/1~9/30 後期10/1~3/31) (3) 地域産業独立支援補助金交付者数 0名 (1,200円) 報告期間(前期4/1~9/30 後期10/1~3/31)		
					補足事項	進捗率	H26.9.1 現在	
	H27.3.31 現在	(短期支援) H24 / 3人 H25 / 1人 H26 / 4人 計 / 8人 (長期支援) H24 / 2人 H25 / 3人 H26 / 2人 計 / 7人 (独立支援) H24 / 1人 H25 / 1人 H26 / 0人 計 / 2人						
	成果目標	短期支援6人/3年、長期支援9人/3年 独立支援3人/3年(各人数は延べ) ※長期支援は期間拡充		事業結果	(1) 地域産業現場実習短期支援者数 4名 (1,175千円) (2) 地域産業現場実習長期支援者数 2名 (100千円) 報告期間(前期4/1~9/30 後期10/1~3/31) (3) 地域産業独立支援補助金交付者数 0名 (0円) 報告期間(前期4/1~9/30 後期10/1~3/31)			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援		事業評価等			
		大施策	(1) 地域経済を担う多様な人材の活用と育成					
		中施策	④高度で専門的な知識・技能をもつ人材の活用と育成					
産業振興のプラン位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成	(事務担当) 記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項					
	基本方針	(4) 次代を担う人づくり						
	基本施策	②職業人としての意識・能力の涵養						
事業担当課等	■伝統工芸創造部会 部会員 ものづくり審議会委員5人 ■事務担当 地場産業係		(事業担当) 記載事項 改善点・目標の未達成理由等	クラフトマンサポート事業については、首都圏を含め、年間10件以上の問い合わせがあるなど、年々、認知度は高まっている。しかしながら、予算上、受け入れ可能人数が決まっており、また、前年度からの継続者がいる場合は、新規受け入れができないなどの問題もある。 また、短期支援から長期支援には比較的容易に進めるが、独立支援に結びついていない等の問題もある。 これらの点について、伝統産業界の人材の受け入れ環境や若手職人に対する販路開拓など、独立支援につながるような対策を検討していく必要がある。				

事業	ものづくり基本計画	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2) 技術者、経営者等の能力向上への支援		平成26年度				
	事業名	技能検定の受験及び技能五輪への参加等に向けた支援の検討		予算額	千円			
				決算額	千円			
	事業概要	本市のものづくり産業の力量形成に向けて、確かな技術や技能は必須条件の一つであるため、技能検定の受験及び技能五輪大会への参加等を旨とする技術者や事業所等に対して、費用助成等の支援を検討する。		取組状況	H26.9.1 現在	■平成25年度のヒアリング結果から、支援制度の制定について、その必要性も含め、詳細を検討する。		
					進捗率	H26.9.1 現在	(%)	
						H27.3.31 現在	(%)	
	成果目標	補助金等交付要綱などの支援制度の整備		事業結果	<p>■技能五輪の参加について</p> <p>・大手企業は自社の技術力向上やイメージづくりのため、技能五輪参加を考えるが、中小企業の参加希望については、ヒアリングで確認することができず、技能五輪参加に向けた補助は必要とされていないとの結論に至った。このことから、平成27年度から施行の第2次ものづくり産業振興基本計画策定の中で、中小製造事業者の技術力向上や、人材の育成に対し新たな支援策の検討を行った。</p>			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針						
		大施策						
		中施策						
産業振興のプラン位置付け	基本方向		事業評価等	<p>(事務担当記載項目)</p> <p>所属部会からの意見及び指摘事項</p>				
	基本方針							
	基本施策							
所属部会	<p>■技術者養成部会 部会員 ものづくり審議会委員3人</p> <p>■事務担当 地場産業係</p>		<p>(事業担当記載事項)</p> <p>改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■平成27年度施行の第2次静岡市ものづくり産業振興基本計画では、中小企業の技術力向上や、人材育成に向け新たな支援策を掲載する。</p>				
事業担当課等	<p>経済局商工部 産業振興課 地場産業係</p>							

事業 10	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策3) 情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援		平成26年度					
	事業名	若手グループの商品開発支援 (ものづくり相談・支援)		予算額	1,146千円				
				決算額	1,005千円				
	事業概要	市内地場産業の活性化のために、デザイン、技術、経営等に関する各種講演会や指導会のほか、実技指導も含めた技術講習会の開催や、専門家による新商品開発指導など、ものづくりに対する相談を行います。		取組状況	H26.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> <li>■技術講習会の開催 吹付塗装技術実技講習会の実施(計3回)(予定)</li> <li>■講演会の開催 デザイン開発講演会(1回)(予定) ヒット商品講演会(1回)(予定)</li> <li>■商品開発事業の開催 漆器商品開発研究会(2回)(計5回予定)</li> <li>■展示会開催 乾漆開発品の展示会(予定) 乾漆商品開発研究会(10回)、(計24回予定)</li> <li>■専門家派遣の実施 乾漆商品開発指導(1回)(予定)</li> </ul>			
					補足事項	進捗率	H26.9.1 現在		
	H27.3.31 現在	(技術講習会開催数) 3回 (講習会等開催数) 33回	(技術講習会開催数) 300.0 (講習会等開催数) 660.0	(%)					
	成果目標	技術講習会 1回/年 講習会等 5回/年 (新商品開発事業の推進等)		事業結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■技術講習会の開催 吹付塗装技術実技講習会の実施(計3回、参加者各7名)</li> <li>■講演会の開催 デザイン開発講演会(1回、参加者31名) ヒット商品講演会(1回、参加者31名)</li> <li>■商品開発事業の開催 漆器商品開発研究会(計5回)</li> <li>■展示会開催 乾漆開発品の展示会(1回/7日間) 乾漆商品開発研究会(計24回)</li> <li>■専門家派遣の実施 乾漆商品開発指導(1回、参加者13名)</li> </ul>				
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>(事務担当) 記載項目</li> <li>所属部会からの意見及び指摘事項</li> </ul>			
		大施策							
		中施策							
産業振興のプラン位置付け	基本方針	2 生活の質を高める産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>(事業担当) 記載事項</li> <li>改善点・目標の未達成理由等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■専門家派遣と地元展示会出展による乾漆商品開発の実施 乾漆の商品開発事業として著名専門家を継続的に派遣し、技術向上に努めると共に、地元の各種展示会に出展し商品化を促した。</li> </ul>					
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進							
	基本施策	④地域・伝統産業の近代化推進							
所属部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>■伝統工芸創造部会 部会員 ものづくり審議会委員5人</li> <li>■事務担当 地場産業係</li> </ul>								
事業担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係								